

The Ice Cream 「アイスクリーム」

	The Ice Cream	アイスクリーム
PG 1	Can I get an ice cream? Yes, I can!	アイスクリーム、食べていい？ もちろん！
PG 2-3	Come on, run to the ice cream van.	さあ、アイスクリーム屋の車へ走りだ。
PG 4-5	I want the big one. Look at that!	僕、大きいのが食べたい。 あれを見て！
PG 6-7	Look Out, Kipper! Oh no!	気をつけて、キッパー！ あっ、しまった。
PG 8	Splat!	ぺちゃり！

- 1) 表紙を見て Kipper がどこにいるか、何曜日か、砂浜に何人の人がいるか、など子どもと話し合います。「アイスクリームのおじさん、怖い顔」と言う子どももいるでしょう。
- 2) 1 ページを読んで、これは誰が言った(または考えた)ことばか、聞きます。そう、Kipper のことばです。2 ページを読み、ice cream van を探させ、アイスクリーム売りの車を確認します。4 ページは big を強調して読みます。5 ページは、that を伸ばして読み「すごいなあ～」という感じを出します。6 ページ、たいへんなことが起こりそうな感じを込めて読みます。7 ページの Oh no! を読んだら、右端の男の人の足に注目し、1 ページ、または 2 ページにもどって、どの人が探しましょう。ここで、8 ページでどうなるか、子どもに予測させます。8 ページを見て大笑いです。
- 3) フォニックス基本ルールを知っていると読める単語がストーリーにいくつか含まれています。an, at, big, can, get, run, yes などです。これらの単語を言って、子どもに指させます。また、can と van, that と splat がライミングしていることに気づかせます。
- 4) 私の teacher-training course で、Ice Cream を子どもの読み聞かせ材料として工夫を凝らした受講生がいました。8 ページのつぶれたアイスクリームを、紙粘土で形作り、ケーキ材料をふりかけました。簡単にできますので、子どもの頭に載せて Oh no! Splat! と演じてみると楽しいでしょう。

Can You See Me? 「僕が見える？」

Can You See Me?	「僕が見える？」
PG 1 Can you see my teddy bear?	僕のテディベア見える？
PG 2-3 Can you see my dog?	僕の犬見える？
PG 4-5 Can you see my picture of a big, red frog?	僕の描いた大きい赤いカエル見える？
PG 6-7 You can see my tiger, if you look in the tree.	僕のトラ見えるでしょ、木のなかを見れば。
Are you looking?	見てる？
PG 8 Can you see me?	僕が見える？

- 1) 表紙を見て、Kipper と Floppy が何をしているか話し合います。「かくれんぼ」は hide and seek です。
- 2) 1 ページを読み、Kipper の teddy bear を探します。探しながら、描かれているものを英語で言っても良いでしょう。2 ページを読み、Floppy を探します。teddy bear や Biff やお隣のおじさんも探します。4 ページを読み Kipper の絵を探します。他の子どもの絵に描かれているものも英語で言って聞かせるとよいでしょう。(このシリーズのイラストレーター Alex Brychta さんの絵がイーゼルにかかっています。)6-7 ページを読み tiger のぬいぐるみを探します。8 ページを読み、Kipper を探します。
- 3) フォニックス基本ルールで読める単語は、big, can, dog, if, red などがあります。ee を[i:]と読むルールで see と tree もあります。ライミングは dog と frog, tree と me です。
- 4) この絵本の文はすべて Kipper のことばです。子どもが絵本を持ち、自分で読み、探したものを指さす、という show and tell のような発表をさせると良いでしょう。

Good Dog 「僕はいい犬」

Good Dog	僕はいい犬
PG 1 I'm a good dog. Look at me.	僕はいい犬です。 僕を見てください。
PG 2-3 I'm very good, as you can see. You say, "Sit," I sit.	ご覧の通り僕はとてもいい犬です。 「おすわり」と言われれば、坐ります。
PG 4-5 That's it. If you call, I get the ball.	ほらこのとおり。 声がかかれば、ボールを取りに行きます。
PG 6-7 You say, "Stay," I stay. That's that.	「待て」と言われれば、待ちます ほら、この通り。
PG 8 But not if I can see a cat.	ただし僕が猫を見なければの話ですけど。

- 1) 表紙を見てタイトルを読みます。「Floppy は good dog なんだよ、というお話かな？」と子どもに問いかけ、色々予測させます。
- 2) 1 ページを読みます。子どもに Floppy の演技をさせても良いでしょう。そのときは、自分を指さして Look at me.と言わせます。2 ページを読みます。2-3 ページには、メガネが道に落ちていて、お肉やさんには「犬お断り」の貼り紙があります。4-5 ページを読み、子どもに Floppy の役をさせると良いでしょう。6-7 ページを読み、8 ページで何が起きるか予測させます。8 ページは not を強調して読みます。
- 3) フォニックス基本ルールで読める単語は、but, can, dog, get, if, it などです。ライミングは、me と see、sit と it、call と ball、that と cat、say と stay です。
- 4) この絵本の文はすべて Floppy が読者に語りかけている英語です。子どもが Floppy になって、口パクをしながら、Floppy の動作をすると楽しいアクティビティになります。

What a DIN! 「なんてやかましいの！」

What a DIN!	なんてやかましいの！
PG 1 Biff has a pan and a big, red pot.	ビフはフライパンと、大きな、赤いお鍋を持っています。
PG 2-3 Chip has a tin. What has Kipper got?	チップは、缶を持っています。 キッパーは、何を持っているのかな？
PG 4-5 Kipper has a can. Dad has a bin.	キッパーは、缶を持っています。 お父さんは、ゴミ箱を、持っています。
PG 6-7 Bang, crash, bang! What a din!	バーン、ガツチャーン、バーン！ なんてやかましいの！
PG 8 What a din!	なんてやかましいの！

注: tin は、主に食べ物の入った缶で、例えばビスケットの入った缶など。

can は、英語では主に飲み物用の入れ物。但し米語では、飲み物と食物両方に使う。

- 1) 表紙を見せ、タイトルを読み、どんな意味か当てさせます。「なんてやかましいの！」という意味だと教えます。
- 2) 1 ページを、絵を指さしながら、読みます。(a pan と言いながら左側のフライパンを、a big, red pot と言いながら右側の赤い鍋を指さす。) Biff は CD の音楽に合わせて打楽器を演奏しているつもりですね。2-3 ページを絵を指さしながら読みます。4-5 ページも同様に読みます。6 ページで誰が台所に入ってくるか予測させます。6 ページは擬音語なので、大きさに読みます。Mum が頭につけているのは何か考えさせます。7 ページを読み、誰が言った言葉か考えます。8 ページでどうなるか予測しましょう。Mum はヘッドフォン(headset)をして、はたき(duster)を指揮棒にして楽しそうですね。このページの What a din! は誰の言葉か考えます。Floppy ですね。もし 9 ページ目があるとしたら、どうなるか予測しましょう。
- 3) フォニックス基本ルールで読める単語は、and, big, bin, has, pan, pot, red, tin です。ライミングは pot と got, tin と din です。
- 4) 絵本と同じものが家の中にあるか探しましょう。絵本と同じように音を立て、What a din! と実感を込めて言いましょ。

See Me Skip 「私が縄跳びするのを見て」

See Me Skip	私が縄跳びするのを見て
PG 1 See me skip.	私が縄跳びするのを見て。
PG 2-3 This is the way. I like to do this every day.	こうやるのよ。 毎日、これをするのが好きなの。
PG 4-5 “Come on, Dad. Can you skip too?” “Yes, I can. I skip like you.”	「パパ、やらない？パパも縄跳びできる？」 「できるとも。君みたいにね。」
PG 6-7 “Look at me. Look at me go!” “Look out, Dad!”	「ぼくを見てごらん、ぼくのするのを見てごらん！」 「パパ、気をつけて！」
PG 8 Oh no! Oh no!	「あーあ。」

- 1) 表紙を見せ、タイトルを読みます。絵について話し合います。Dad はお皿を洗い、Chip は宿題をしています。
- 2) 1 ページを読みます。誰が誰に言っているのか考えます。2-3 ページを読みます。4 ページで何が起きるか予測します。4-5 ページを読みます。Biff の声と Dad の声を使い分けましょう。6-7 ページを読みます。Floppy に注目します。Floppy の目の高さからはどんなことが見えているのでしょうか。8 ページを予測します。Oh no! に気持ちを込めて読みます。
- 3) フォニックス基本ルールで読める単語は、at, can, Dad, on, skip, yes です。ライミングは way と day、too と you です。

The Mud Pie 「泥のパイ」

The Mud Pie	泥のパイ
PG 1 This is mud in my hand.	僕の手の中にあるのは、泥です。
PG 2-3 Put in water. Mix in sand.	水を入れて 砂を混ぜて
PG 4-5 Tap it out. Pat it flat.	ひっくり返して パンパンと平らにして
PG 6-7 This is a mud pie...	これが泥のパイ
PG 8 ...not a hat.	...帽子じゃないけど。

- 1) 表紙を見せ、Kipper が何をしているか話し合います。泥遊びを経験していない子どももいるかもしれませんね。泥がどんなものか知らないと、このストーリーは楽しくないので、雨がやんだあとの庭や道がどろどろであることを思い出させましょう。
- 2) 1 ページを読み、家族のひとりひとりがしていることを英語で言ってもよいでしょう。2-3 ページを読みます。4-5 ページを読みます。6 ページで何が起きるか予測します。6 ページを読みます。上がるイントネーションで読み、続きがあることを感じさせます。8 ページを読みます。
- 3) フォニックス基本ルールで読める単語は、hand, hat, in, it, mix, mud, not, pat, sand, tip などです。ライミングは hand と sand、flat と hat です。
- 4) この絵本の英語は全部 Kipper のことばです。意味のある言葉に stress を置いてチャンツとして言ってみましょう。(1-2-3-4 のリズムを****で表しています。)

* * * *
This is mud in my hand.

* * * *
Put in water. Mix in sand.

* * * *
Tip it out. Pat it flat.

* * * *
This is a mud pie, not a hat.